

授業科目	国際ボランティア演習				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21501J/ E		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	Kristen Maree Sullivan							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>持続可能な社会を創るためには、グローバルなパートナーシップや協力が欠かせない。この授業では、担当教員は自身の国際交流の経験を生かし、受講者と一緒に国際協力の在り方や様々な形についてまず確認する。実務家の外部スピーカーからも直接話を聞いて、国際協力の現状を確認する機会を設ける予定である。コロナ禍による制限はあるものの、その制限の中で私たちにはどのような国際協力ができるかを調べ、考え、企画し、実施する。実施した内容に振り返り、問題点や改善点について考えた上で、今後、どのような形で国際協力に関わりたいかについて考える。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際協力の在り方について理解する。</li> <li>2. 国際ボランティアプロジェクトを企画し、実施する。</li> <li>3. 実施した内容に振り返り、問題点や改善点について考える。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	30	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			10	5			15	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	5			15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					5		5	
関心・意欲 (DP3-2)					5		5	
態度(DP4-1)					5		5	
態度(DP4-2)			5	5	5		15	
態度 (DP4-3)			5	5	5		15	
技能・表現 (DP5-1)			5	5	5		15	
技能・表現 (DP5-2)			5	5			10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際協力の在り方について説明できる。</li> <li>2. 国際ボランティアプロジェクトを企画し、実施することができると共に、実施したプロジェクトに振り返り、問題点や改善点について考えることができる。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際協力の在り方について理解できる。</li> <li>2. 国際ボランティアプロジェクトを企画し、実施することができる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の概要について説明する。			講義		予習・復習: 該当部分の予習・復習		60

2	国際協力について1 国際協力とは何か。国際協力の歴史と現状を確認し、国際協力の様々な形について考える。	講義、演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
3	国際協力について2 国際協力とは何か。国際協力の歴史と現状を確認し、国際協力の様々な形について考える。	講義、演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
4	国際協力について3 国際協力とは何か。国際協力の歴史と現状を確認し、国際協力の様々な形について考える。今の私たちにはどのような国際協力を行うことができるのかについて考え始める。	講義、演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
5	国際協力と異文化間コミュニケーション ケーススタディの考察を通して、異文化間コミュニケーションの観点から国際協力の在り方について考える。	講義、演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
6	実務家外部スピーカー1 実務家の外部スピーカーから直接話を聞く。	講義	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
7	実務家外部スピーカー2 実務家の外部スピーカーから直接話を聞く。	講義	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
8	ボランティアプロジェクトの実施1 今の私たちにはどのような国際協力ができるのか。みんなで調べ、考える。	演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
9	ボランティアプロジェクトの実施2 プロジェクト内容を具体的に企画する。	演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
10	ボランティアプロジェクトの実施3 プロジェクトを実施し、途中報告を行う。	演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
11	ボランティアプロジェクトの実施4 プロジェクトを実施し、途中報告を行う。	演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
12	ボランティアプロジェクトの実施5 プロジェクトを実施し、途中報告を行う。	演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
13	ボランティアプロジェクトの実施6 実施したプロジェクトに振り返り、問題点や改善点について考える。	演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
14	全体の振り返り、まとめ 今後、どのような形で国際協力に関わりたいか、持続可能な活動の在り方、継続性のあるグローバル・パートナーシップの在り方について考えよう。	講義、演習	予習・復習:該当部分の予習・復習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	国際社会に対する興味関心と基礎的な世界情勢についての知識。			
テキスト	適宜資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	北九州でもさまざまな国際交流や国際貢献のプログラムが実施されています。是非一度参加してみてください。			
達成度評価に関するコメント	レポート、発表、その他の提出物については、授業中に説明する。			

